



海上保安庁音楽隊 第27回定期演奏会

27th Annual Concert of the Japan Coast Guard Band

令和3年11月4日(木) 19時 ライブ配信開始
東京芸術劇場 コンサートホール



公益財団法人 日本海事センター補助事業
後援 / 公益財団法人 海上保安協会

ごあいさつ

Greetings



す だ ま さ み
海上保安庁音楽隊長 須田 雅美

ライブ配信をご覧いただいている皆様、本日はお忙しい中、海上保安庁音楽隊第27回定期演奏会をご視聴いただき誠にありがとうございます。

昨年来、世界的に大流行している新型コロナウイルス感染症により、毎年この時期に行っていた定期演奏会をはじめすべての演奏会が取りやめとなりましたが、音楽隊発足以来、初めてYouTubeへの演奏動画配信に挑戦し、演奏を通じた動画による広報活動を続けてまいりました。

今回はやむを得ずライブ配信とさせていただきますが、軽快なマーチ、今流行りのポップスやジブリなど多彩な楽曲をお楽しみいただき皆様のおうち時間が充実したものになれば幸いです。

本演奏会の開催にあたり多大なるご支援、ご協力をいただきました関係者の皆様方に、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

指揮者紹介

Conductor



あ ら い こ う た
海上保安庁音楽隊技術顧問 荒井 弘太

静岡県出身。玉川大学文学部芸術学科音楽専攻卒業。同芸術専攻科修了。コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース卒業。トランペットを榊原達、祖堅方正、山本武雄、津堅直弘の各氏に師事。指揮を藤本晃氏に師事。

幅広いジャンルで演奏活動を行い、2007年、2012年のブロードウェイミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」ワールドツアー日本公演に参加したほか、現在でも、劇団四季、東宝、東京宝塚の各ミュージカルにトランペット奏者として演奏活動をしている。

2013年、CD「マジカルサウンズの愉快的な悪戯」をリリース。

現在、日本ブラスバンド協会理事、日本吹奏楽指導者協会会員、信州大学吹奏楽団音楽監督、東京国際大学吹奏楽団音楽監督、海上保安庁音楽隊技術顧問。

海上保安友の会

海と船が大好きな人の集い。海上保安庁に対する理解と、会員相互や海上保安官との交流を深めることを目的に設立。

興味のある方は最寄りの管区海上保安本部総務課へお問い合わせください。

ホームページ <https://kaiho-tomonokai.net>

青い羽根募金

公益社団法人日本水難救済会が実施する「青い羽根募金」は、海で遭難された方々の救助をボランティアで行う救助員の活動を支援しています。海上保安庁は、このような日本水難救済会の活動を支援しています。

【お問合せ先】公益社団法人日本水難救済会 電話03-3222-8066

ホームページ <http://www.mrj.or.jp/donation/>

プログラム

Program

司会者 間賀田 万有子

行進曲「美中の美」

The Fairest of the Fair March

作曲: J.P. スーザ

NHK大河ドラマ メインテーマ「青天を衝け」

“Seiten wo Tsuke” Main Theme

作曲: 佐藤 直紀 / 編曲: 福島 弘和

吹奏楽の為の抒情的「祭」

Festal Scenes Jojōteki - “Matsuri”

作曲: 伊藤 康英

海上保安庁広報

Public Relations

「ドラゴンクエストI」より 序曲

“Dragon Quest I” - Overture March

作曲: すぎやま こういち / 編曲: 真島 俊夫

YOASOBIメドレー

YOASOBI Medley

作曲: Ayase / 編曲: 郷間 幹男

アンコール ~ ハルジオン ~ 群青 ~ あの夢をなぞって ~ 怪物 ~ 夜に駆ける

「千と千尋の神隠し」ハイライト

Highlights from “Spirited Away”

作曲: 久石 譲 / 編曲: 遠藤 幸夫

あの夏へ ~ 底なし穴 ~ 竜の少年 ~ 仕事はつらいぜ ~ ふたたび ~ 帰る日

「LIMIT OF LOVE・海猿」より「海猿」のテーマ

“LIMIT OF LOVE UMIZARU” - UMIZARU Theme

作曲: 佐藤 直紀 / 編曲: 杉本 幸一

プログラムノート

Program Note

行進曲「美中の美」

作曲: J.P. スーザ

「マーチ王」と呼ばれたジョン・フィリップ・スーザが、1908年のボストン食品博覧会のために作曲した行進曲です。

ボストン食品博覧会は、ボストン小売食品協会の主催で開催されていた見本市と音楽祭です。スーザ・バンドは数年間にわたってその音楽祭の中心を担っていました。スーザは、以前から博覧会で働く一人の魅力的な女性を心に留めていて、その印象を書き上げたと言われています。

“Fair”には、“美しい”と“博覧会”の意味があって、「美人の中の美人」と「博覧会の中で一番の美人」の2つの意味を持たせた洒落たタイトルにしたとも言われています。

NHK大河ドラマ メインテーマ「青天を衝け」

作曲: 佐藤 直紀 / 編曲: 福島 弘和

「日本の資本主義の父」と呼ばれ、新巻万円札の肖像として話題の渋沢 栄一が主人公のNHK大河ドラマ「青天を衝け」のメインテーマです。

冒頭の木管楽器は鳥のさえずり、それに続く自然の鼓動。風や川、舞い落ちる木の葉、利根川や神社の神木、そして彼が想う新しい日本の希望を感じさせる壮大なメロディーが魅力です。

作曲者の佐藤 直紀は、「「青天を衝け」を見るときに何気なくメインテーマを耳にしていただけ、自然と視聴者の皆さんの心や胸に時間をかけて届いていくような音楽であればいい」との思いをコメントしています。

吹奏楽の為の抒情的「祭」

作曲: 伊藤 康英

1986年、青森県にある海上自衛隊大湊音楽隊が、「第10回定期演奏会」のために民謡を取り入れた楽曲を、作曲者 伊藤 康英に委嘱した作品です。

青森民謡の「津軽じょんがら節」「津軽ホーハイ節」「津軽あいや節」「弘前ねぶた」から各民謡のリズム感や旋律が、祭りの持つ独特のエネルギーとともに用いられています。

伊藤 康英は、「民謡のにぎやかなモチーフの集まりであるこの作品に、一種の「祭」の縮図を見る思いがした。そして聖と俗との混沌の中で、この「祭」は抒情性を極めるのであった」

と初演プログラムにてコメントしています。

「ドラゴンクエストI」より 序曲

作曲:すぎやま こういち / 編曲:真島 俊夫

1986年に発売され、今年35周年を迎える「ドラゴンクエスト」シリーズは、日本を代表するゲームタイトルの1つです。

500曲以上に及ぶシリーズ全ての楽曲は、すぎやま こういちが手掛けており、当時ゲーム音楽としては珍しかったクラシック音楽を基調とし、深みのある世界観を表現しています。

「序曲」については、「5分で作った。ただ、当時の年齢の54年と5分でできた曲」「それまでの経験があったから短時間で書けたと思う」と語っています。

数々の功績を残した「すぎやま こういちの人生」がまた一つの伝説であり、まさに選ばれし勇者でした。

去る令和3年9月30日、ご逝去されたすぎやま こういち氏の生前のご功績に心から敬意を表するとともに、謹んで哀悼の意を捧げます。

YOASOBIメドレー

作曲: Ayase / 編曲: 郷間 幹男

YOASOBIはAyaseとikuraの二人からなる「小説を音楽にするユニット」です。

メドレー最後の曲「夜に駆ける」は、星野 舞夜による短編小説「タナトスの誘惑」を原作に作成され、今年5月時点歴代最速でストリーミング再生累計5億回を突破している大ヒットナンバーです。7月には「Into The Night(夜に駆ける English Ver.)」も公開されました。

このほかCM曲に使用された「アンコール」「ハルジオン」「群青」「あの夢をなぞって」、アニメオープニングテーマとなった「怪物」など、人気曲を集めたメドレーとなっています。

「千と千尋の神隠し」ハイライト

作曲:久石 譲 / 編曲:遠藤 幸夫

2001年に宮崎 駿監督のスタジオジブリアニメ映画として公開された「千と千尋の神隠し」は、当時の「タイタニック」の興行収入を超える話題作となりました。

「劇場版「鬼滅の刃」無限列車編」が日本歴代興行収入第1位を獲得するまでの間、20年近くにわたり首位記録を堅持した、日本のみならず世界中で愛され続けている作品です。

2022年2月から3月には、東宝創立90周年記念作品として舞台化が決定しており、主人公の千尋役には、女優の橋本 環奈、上白石 萌音の豪華ダブルキャストが話題となっています。

「LIMIT OF LOVE・海猿」より「海猿」のテーマ

作曲:佐藤 直紀 / 編曲:杉本 幸一

「海猿」は、潜水土を目指し訓練に励む海上保安官が潜水土となり、海難現場の最前線で苦難を乗り越え成長していく姿を描いた漫画を原作とする物語です。テレビドラマ化や映画化で人気を博し、続編として3作品の映画が製作されました。

映画第2作目となる「LIMIT OF LOVE 海猿」は、鹿児島県沖の海上で大型フェリーの座礁事故が発生し、浸水し傾いていく船体、パニックを起こし乗客が逃げ惑う中、懸命に救助に当たる海上保安官達を描いた物語です。その楽曲の中から、「海猿」のテーマをお送りします。

作曲は、「青天を衝け」の作曲者でもある佐藤 直紀、編曲は杉本 幸一です。



海上保安庁音楽隊 Japan Coast Guard Band



海上保安庁音楽隊は、昭和63年に発足以来、「海上保安庁観閲式及び総合訓練」など当庁主催の式典や演奏会、「大喪の礼」、「即位の礼」など国家的行事での演奏、及び国土交通省関係のイベントにおいて、「音楽の演奏を通じて国民との融和を図り、海上保安庁の広報活動の効果を高めるとともに、当庁職員の士気高揚を図ること」を目的として活動を行っています。

主な演奏活動は、海上保安の日祝賀会、海保フェアin立川、定期演奏会やウインターコンサートなどにおける演奏があるほか、年度末には海上保安大学校卒業式での演奏も行っています。これらのほか、国土交通省、地方自治体、海事関係団体などからの派遣演奏依頼にも対応しております。また、近年は動画配信による広報活動も積極的に展開しています。

演奏服

第一種演奏服は、式典や定期演奏会等で着用します。
第二種演奏服(甲)は、屋内での演奏に通年で着用します。
第二種演奏服(乙)は、夏季に着用し、ネクタイを外した略装とすることができます。(右:略装)

音楽隊職員き章

銀色の船舶用コンパスをあしらった金色の竖琴を中心に、白鳥の両翼を配したデザインです。演奏服の左胸に着ける「き章」は、黒のラシヤ地に金と銀のモールを使用して制作されています。



第一種演奏服

紺色のダブル背広型で、前面のボタンには船舶用のコンパスの周囲に救命浮環が描かれています。左肩から胸にかけての金色の飾緒が特徴的な演奏服です。



第二種演奏服(甲)

発足当時、最初にできた演奏服です。薄クリーム色のダブル背広型で、淡青色のネクタイを合わせています。第一種演奏服と同様に、金色の飾緒を着用します。



第二種演奏服(乙)

薄クリーム色の半袖シャツ型で、金色の飾緒は着用しません。船舶用のコンパスの周囲に「JAPAN COAST GUARD」の文字で囲んだ金ボタンを、胸ポケットと前面にあしらっています。

